

平成28年度 第1回 学校協議会 記録

○日時 平成28年7月1日(金) 午後3時半～5時

○場所 本校 高等部棟2階 図書室

○参加者 学校協議会委員 守口市教育センター センター長 吉川 弘美 様
立命館大学 産業社会学科 教授 青山 芳文 様
門真市公共職業安定所 専門援助部門 統括職業指導官
野志 秀憲 様
社会福祉法人 一粒のからし種 グレース工房 理事長
福田 章男 様
守口支援学校 学校医 森口 久子 様
本校PTA会長 古谷万里子 様
学校協議会事務局 郡司校長 佐野教頭 紙野教頭
室田小学部主事 山本中学部主事 石田高等部主事
各分掌部長 医療的ケア安全委員長

○内容

1 学校長挨拶

- ・今年度から赴任。今年度も保護者と一層連携の必要性を認識している。
本府では、大阪市立支援学校12校が4月に府に移管、44校2分校になった。
府内の支援学校ではいろいろな事案が起きており、各校で改善が求められている。ひきつづき6名の協議会委員の皆さんには忌憚のない意見をお願いしたい。

2 学校協議会委員自己紹介、会長挨拶

3 協議会会長選出、挨拶

- ・Y川様が会長に選出 2年目 皆さんの協力を得ながら力をつくしたい。

4 今年度の学校経営計画について 校長

- ・今年度の学校の概要を説明
 - ・平成27年度の自己評価を説明
- 「平成28年度 学校経営計画及び学校評価」について
- ② めざす学校像；変更なし、
 - ② 中期的目標・(多少変更あり)
 - 1 (1)「合理的配慮に基づく」を追加、

- 2 (1) 「児童・生徒の自己肯定感を高め」を追加、
3 (3) 「変化する高等部生徒の実態に対応した取り組みの工夫・実践を進める。」に変更。

- ③ 本年の取り組み内容及び自己評価：(主なものを説明) 1の具体的な取組計画・内容
(1) 「自己肯定感を高めること」追加、今年度より2年計画で「自己肯定感向上PT」を立ち上げる。ICT機器の充実のため校長マネジメント経費の一部を活用する。医療的ケア体制の充実として小中高の連携をすすめ、環境整備も進めていくことを計画。

大規模災害対応マニュアルの更新・改定を行う。緊急連絡メールを導入。

個人情報紛失、漏えいを0件目標に取り組む。

- ④ 各分掌より報告

教務部)、進路部) 研究部) 児生部) 健康安全部) バス部) 支援部) 自立活動部) 情報部)、医ケア)

5 「自己肯定感向上PT」について

・プロジェクトテーマ

気持ちに寄り添う視点—発達障がいの理解— 実態把握

根拠に基づいた授業づくり：生徒・教師の自己肯定感向上

6 今年度の使用教科書

主な使用教科書、学部ごとに展示。

7 授業アンケートについて

4月より実施している授業について、参観や日々の連絡帳、児童生徒の聞き取りなどで記入。実施期間5月26日～6月27日の間に各学部別に実施

8 協議

① 経営計画の総括と今後の課題について

協議員

- ・内容の中で、「変化する高等部の生徒の実態・・・」「高等部の変容する・・・」の意味は？
→個別に対応が必要な生徒の増加。ここ数年、卒業後の離職率も高い。卒業後の進路相談も必要。
- ・不登校の生徒に対しての指導、学校へは行けないが、働きたい、お金を稼ぎたい本人の思い。

協議員

- ・医療的ケア実施教員の増加は評価できる。医ケア対象生徒の宿泊行事、個別の課題について、内科校医として協力していきたい。
- ・食物アレルギーに対するエピペン講習会など常日頃から充実した研修を。

協議員

- ・放課後ディサービスの増加、広がりについて現状は？
- ・放課後ディサービスの広がり子ども達の生活に変化が起こるのでは？安定感は？
→・事業所は昨年17→今年度24に増加。 利用状況 小学部 95% 中学部 61% 高等部 48%、毎日利用している生徒や週1利用している生徒など様々。

② 自己肯定感向上 PT について

協議員

- ・自己肯定感の結果や評価、発表、報告などは？
- ・JJとは？→・自己肯定感 授業力の略称 自己肯定感向上についての取り組みについて、府内の支援学校などへ発信していけるものにしていきたい。

③ 全体を通して

協議員

- ・学校のあたたかさ。地域の連携。保護者の思いを受止めているところが評価できる。
- ・教員同士の相談活動の場はあるか？学んだ事を授業研究や授業づくりに活かしているか。
- ・若手教員の育成はできているか。
- ・授業の中で、サブ教員の立ち位置、導線は。生徒の活動力につながられているか、授業の中で子どもの動きを見て教員が、どう考えるかなど検討することも必要。
- ・守口市立小・中、教育委員会での取り組みとして研究協力校で ICT、アクティブラーニングに取り組んでいる。
- ・子どもたち、「主体の授業づくり」をめざして、教員は子どもがどう活動しているのか、わかって動いているか。子どもの視点で、日々、改善が必要。

9 第2回 学校協議会日程について

11月18日（金）前後で調整。